



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

本省所在機関

—変化する世界、進化する採用—

1 役割と特色・業務概要

本省所在機関とは、防衛の中核である本省内部部局、統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び防衛装備庁で勤務することを想定した採用区分です。国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、新たな危機の時代に突入しつつある中、本省所在機関で経験を積み、将来、防衛政策のスペシャリストとして内閣総理大臣や防衛大臣を補佐する立場となって活躍することが可能です。

2021年度に新設された採用区分で、現在、約50名の職員が勤務しております。

採用後は、我が国の防衛政策や自衛隊の運用、情報等に係る施策の企画立案や推進を担当し、将来、内部部局をはじめとする本省所在機関の管理職員を目指すことのできる採用区分です。

2 キャリアパス

本省所在機関で採用されると、本省内部部局での人事管理となります。

採用から2年間は、**本省所在6機関（※）**のいずれかの機関で勤務となります。この2年間は、内部部局勤務を見据えた内部部局と関連深い部署に配属され、各機関の施策の企画・立案の補佐業務を行い、将来、防衛省・自衛隊の中核機能を担うべく、基礎的知識や技能等を修得します。

3年目からは、本省内部部局に異動となり、ここで政策的業務に触れ、内部部局の仕事の仕方・ものの考え方を身につけるため、6年程度勤務して、さらなるキャリアアップをしていただきます。8年目頃には、係長に昇任し、9年目以降は、ご自身の希望や意欲、能力、適性等を踏まえ、本省内部部局を含む本省所在7機関において横断的に勤務していくこととなります。

※本省所在6機関

①統合幕僚監部、②陸上幕僚監部、③海上幕僚監部、④航空幕僚監部、⑤情報本部、⑥防衛装備庁

3 先輩職員からのメッセージ



「本省所在機関」この採用区分を初めて聞く方も多いかと思います。

所在機関で採用されると、最初の2年間で現場をよく知る自衛官や事務官の方々と共に働くことができ、防衛の中核にしながら現場に触れることができるという魅力があります。私は現在、自衛隊の衛生に関わる部署で勤務していますが、1年目から窓口業務に加え、実際に自衛隊中央病院等へ赴き、高官対応や重要会議等に携わる機会があります。また、人をとても大事にするという点においても、若手職員にとって挑戦しやすい環境であると強く実感します。

本省所在機関で、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

【国家一般職（大卒程度（行政区分）） 2023年入省・陸上幕僚監部 衛生部企画室】

4 問合せ先

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
TEL 03-3268-3111（代表）
防衛省大臣官房秘書課試験企画係（25005）



防衛省採用情報ページはこちらから👉

https://www.mod.go.jp/j/saiyou/ippan_senmon/index.html

